

ちゅちゅ...



ちゅさくねーよ!!!

ちまっ

ザンッ

まあせいぜいがんばってよね……

信じられねエぜ……俺は夢でも見てるのか？



少しは楽しめるかと思っただけど…
こんな粗チンとはがっかりだよ



なんだよ…滅茶苦茶じゃねーか
こんなの勝てるはず…んッ…

人が動いてる時の体内の魔力の流れを記憶して
動きを模倣できるんだよね…こんな風にッ

この腰捌き…どういう事だ…
こいつは師匠の技だ…うッうッうッおッ!!

ジッポッ

ジッポッ

ウッ!
あッ

アッ

はっや...もう終わりか...

はあ...

逝かされた...?
俺は逝かされたのか?

ピュルルッ

バクッ



まだ…終ってねえぜ…!!

ふう…大人しく寝てれば良かったのに…

イッ



それに思い出したんだ…師匠の技を…!!



じゃあその真似事が通用するか試してみなよ?

んわや...

ピクッ

俺は…何度でも立ち上がって技を叩きこんでやる…!!

しづといね…シンツ…!?少しは楽しめへえ♡そうひやアツ…♡♡



そんなあ大振りヒイ...♡防御もしなひいれエツ♡♡アへえエアツ♡♡

相打ち覚悟だったのにビビッて損したぜ...
やっぱり全然重たくねエや...!!

ドン

あゝ

へー あゝ

ガクッ

ズッ

ズン

ぷるるる

閃天撃ツツ!!

ガクッ

ガクッ

ドクッ

おひ

ハッハッ

ヒッ

「あッ」

おっおひいッ♡こんらア...♡
血迷ったこうげひいへえッ♡♡
敗けるひやずうなへええあアッ♡♡

ズッ

ビュッ

プッ



















